

トピックス

1、地域包括ケア病棟・緩和ケア病棟開設まで

(1) 病床届出状況

期 間	入院基本料	病 棟
令和 5 年 4 月～6 月	特別入院基本料	全病棟
令和 5 年 7 月～10 月	地域一般入院料 3	全病棟
令和 5 年 11 月～	地域包括ケア病棟入院料 1	4 階・5 階病棟
令和 5 年 11 月～令和 6 年 2 月	地域包括ケア病棟入院料 1	6 階病棟
令和 6 年 3 月～	緩和ケア病棟入院料 2	6 階病棟

(2) 取組み

3ヶ月間の特別入院基本料算定期間に、地域一般入院料で加算取得が可能なものに関して算定基準の整備を行った。地域包括ケア病棟においては、施設基準が厳しく設けられており、全ての要件をクリアする必要があった。開院時から地域包括ケア病棟を見据え実績を作ってきた。特に重要視したのは、在宅復帰率、在宅受入れ件数、緊急受入れ件数、在宅訪問診療件数などである。

緩和ケア病棟においては、病院機能評価等の第三者評価が要件となっており、開設準備段階から、病院機能評価機構に申し入れを行い、12月の審査予定の承認を得ていた。

6病棟においては、開院時から緩和ケア病棟を見据え実績を作り、半年実績を持って12月に受審した。翌年2月には中間的な結果報告を受け、3月から緩和ケア病棟として運用開始をすることができた。

(副院長兼総看護師長 中林八千代)

2、 病院長・副院長 講演会開催

(1) 取組み

当院では、病院長や副院長が、経験豊富な医師の視点から、終活、認知症、社会保険制度、当院の利用方法など様々な内容について、定期的に講演を行っている。こうした講演を通じて、高齢者やご家族の皆が将来の不安や病気に対する理解を深め、心の準備を整えるお手伝いをさせていただき、地域貢献の一環として、皆さまが健康で生きがいにあふれ、充実した暮らしを送れるよう積極的に取り組んでいる。

(2) 実績

日時	場所	内容
5月21日	安楽寺	終活について
5月28日	明円寺	親鸞上人生誕
5月30日	JA 広島可部支店	病院の機能分化とは？
6月10日	君田温泉	北部医療センター心筋梗塞友の会
6月24日	安佐南区 ケアマネ会	安佐医師会病院の利用方法について
6月29日	広島本願寺別院	終活する前に知っておくべき病院の仕組みと役割
7月15日	安佐南区ツタヤ	病院の利用方法、トークショー
7月24日	安佐医師会病院	民生委員との意見交換会
8月21日	広島本願寺別院 共命ホール	終活する前に知っておくべき病院の仕組み
8月28日	高陽公民館	物忘れと病院の利用方法
8月30日	JA 広島役員研修	病院と介護保険の利用方法
9月18日	大林学区集会所	終活する前に知っておくべき病院の仕組み
9月21日	赤十字看護大学	これからの医療と生活と看護
9月22日	出羽公民館	～終活なんかやめておけ～ 知っておきたい病院の仕組み
9月25日	高陽公民館ホール	認知症カフェ、社会的処方の大切さ
9月29日	広島国際会議場シルバー人材センター	いつまでも元気に働くために
10月6日	JA コープビル	終活する前に知っておくべき病院の仕組み
11月2日	安田女子大学	就活と終活
11月9日	安佐北区総合福祉センター	安佐北区民生委員児童委員研修会
11月22日	大林集会所「スマイルカフェ」	自分らしい人生を送るために「明るくACPを考えよう！」
11月25日	本願寺別院報恩講	悪縁と終活
11月26日	安芸太田町正覚寺報恩講	病院と介護保険の利用方法

日時	場所	内容
11月30日	川内公民館	終活する前に知っておくべき病院の仕組みと役割
12月1日	桜下亭	安佐医師会病院緩和ケア病棟の紹介
12月17日	可部南福祉会館	安佐医師会病院の利用方法について
1月6日	安佐北区総合福祉センター	可部を中心とした地域再生
1月20日	暮らしの保健室亀山	日頃の健康管理について
2月3日	可部南集会所	認知症について
2月3日	鈴張公民館	終活について
2月8日	九品寺町内会会館	「健康」について
2月13日	亀山公民館	安佐医師会病院の利用方法
2月14日	三入公民館	安佐医師会病院の利用方法
2月15日	安佐北区総合福祉センター	安佐北区ボランティアステップアップ研修会「病院の機能分化について」
2月18日	亀山集会所	可部の街再生
2月26日	安佐北区総合福祉センター	終活とは何か
3月11日	安公民館	自分らしい人生を送るために「明るくACPを考えよう！」
3月14日	虹山集会所	終活する前に知っておくべき病院の利用方法

(事務長 伊藤正和)

3、 よろず相談室・太極拳教室

安佐医師会病院では、施設内のコミュニティセンター（2階）を活用し介護予防として「よろず相談室」と「太極拳教室」を開催した。

「よろず相談室」は、地域の皆さんの健康に関する悩みや質問に、病院長や副院長をはじめとする当院の医師が対応し、食事や運動のアドバイス、疾患の予防、ストレス・睡眠障害、物忘れなど、幅広い相談に応じることとし、ご本人だけでなく、ご家族に関する相談も予約制の受付とした。

「太極拳教室」は、専門の指導者に依頼し、ゆったりとした運動や呼吸法によって、柔軟性や筋力を向上させるだけでなく、バランス感覚も高めるため介護予防に役立つトレーニングとして開始した。

「よろず相談室」と「太極拳教室」は、令和5年9月から開始し、毎月第2木曜日に開催した。参加費は無料。令和5年度「よろず相談室」は6回開催し、延べ30名参加し、「太極拳教室」は1クラス50人で行った。

好評のため、令和6年度からは開催回数等を増やし、「よろず相談室」、「太極拳教室」ともに毎週水曜日の13時から開催することとした。

（事務長 伊藤正和）



4、口腔ケアラウンド

病院内に「口腔・嚥下・栄養チーム」を立上げ、口腔ケアにおいては北部医療センター安佐市民病院との連携協定の中で、歯科衛生士の協力を仰ぎチームとして患者ラウンドを9月から開始した。誤嚥性肺炎予防として専門的口腔清掃及び患者指導が主な活動であるが、その他、急性期からの継続治療の必要な患者、義歯調整、新たな歯科治療が必要な患者の評価も実施し歯科医介入への繋ぎもお願いした。

10月からは、歯科訪問診療も開始し入院中に歯科治療も実施できることとなった。

(1) 実績

患者数：45名（延べ人数109名）

病棟別介入回数 2023年9月～2024年3月

	4階病棟	5階病棟	6階病棟	合計
栄養	7	4	0	11
口腔	40	45	12	97
口腔・嚥下	0	1	0	1
総計	47	50	12	109

(2) 成果

専門性の高い歯科チームが介入することで、誤嚥性肺炎予防や口腔内環境改善を行うことができ、患者自身もセルフケアに前向きになるなどQOL向上に役立った。また、看護師にとっても口腔ケアに対する認識が高まり口腔ケアのスキルアップを図ることができた。

歯科医の介入では、義歯作成・修正、口腔疾患の診療により食事アップができ、常食が摂取できるまでになるケースが多くあった。

(3) 今後の取組み

- ① 切れ目のないケアの継続に向け、地域との連携について取り組む
- ② 口腔ケア研修会の開催により更なるスキルアップ

(4階病棟看護師長 西川ひとみ)



5、 移動販売車招聘

当病院内には売店やコンビニ、食事を提供する食堂がないことから、患者さんの利便性向上のために移動販売車を導入した。7月から週に2日（月曜日と木曜日）15時から、移動販売スーパーの「スパーク GOGO」がサービスを提供している。飲料、お菓子、衛生用品、日用品など、幅広い商品を取り揃えており、また、足りない部分は本店舗のスパークから調達可能であり柔軟に対応して頂いている。

移動販売車は患者さんの間で非常に人気があり、時には支払いレジが混雑し、順番待ちの光景も見られ、多いときには1日で20～30人の方が利用されている。

入院中の患者さんにとっては、外出することが難しい状況でも必要な商品を手に入れることができるため、大変重宝されている。

（事務長 伊藤正和）



6、キッチンカー招聘

当病院では、職員食堂がなく院内には自販機のパン、カップ麺のみで、多くの職員にとって昼食は中々の問題であった。そこで、可部地域で有名なキッチン「どうらく」さんが運営するキッチンカーの導入をお願いした。このキッチンカーは、令和6年2月より隔週の火曜日にやってきて、11時から14時までの間に、おでんやどんぶり、本格的なカレーなど、さまざまな料理を提供している。価格も500円から1000円と比較的リーズナブルで、美味しい料理を楽しむことでリフレッシュできるだけでなく、持ち帰りも出来ることから女性受けするメニューとなっている。

キッチンカー招聘は、地元で愛されている有名店の味を味わうことができ、職員にとって楽しい時間となっている。

(事務長 伊藤正和)



7、安佐准看護学院実習受入・講師派遣

(1) 実習状況

期 間	学 生	病 棟
令和5年4月～令和6年12月	成人看護 37名	4・5階病棟
令和6年1月～3月	基礎実習 45名	4・5階病棟

(2) 取組み

安佐准看護学院は、広島市立安佐市民病院北館の改修計画の中に既に入っており、改修完了と同時に当病院の2階へ引っ越しとなった。開院前から准看護学生の受入れについて検討し令和5年2月には、広島県健康福祉局医療介護基盤課へ現地調査資料を提出し、3月には県職員による現地調査を受けた。開院と同時に43期生37名の実習を2つの病棟で開始となった。当初は患者数も少ない中であつたが、コロナ後の臨地実習開始もあり、まずは病院、病棟の構造から見学し看護師の業務もゆっくりと指導することが出来た。

1年生においては、学内教育が終了後、基礎実習として翌年1月から3月の間、地域包括ケア病棟で実習を受入れた。

(3) 派遣講師

医 師：土手慶五、長谷好記

看護師：佐々田利恵、中村須美香

薬剤師：開 浩一、藤井麻佑子

リハビリ技師：廣戸菜摘

以上の7名が授業を行った。

(現副院長兼総看護師長 中林八千代)